

## ESD-J 会員のみなさま

7 月 25~28 日 (29 日朝) にかけて IPCC 第 59 回総会がケニアのナイロビの国連事務所で開かれ、170 の政府代表約 1,600 人が参加しました。総会では、紆余曲折の末、第 7 次評価サイクルに向けた新たな体制が決定されました。IISD の Earth Negotiations Bulletin による会議の詳しい記録は、以下の URL から閲覧できます。

[https://enb.iisd.org/59th-session-intergovernmental-panel-climate-change-ipcc-59-summary?utm\\_medium=email&utm\\_campaign=ENB%20Update%20-%2031%20July%202023&utm\\_content=ENB%20Update%20-%2031%20July%202023+CID\\_004c63e69572fe256eb823acc0a48d61&utm\\_source=cm&utm\\_term=Read%20the%20summary](https://enb.iisd.org/59th-session-intergovernmental-panel-climate-change-ipcc-59-summary?utm_medium=email&utm_campaign=ENB%20Update%20-%2031%20July%202023&utm_content=ENB%20Update%20-%2031%20July%202023+CID_004c63e69572fe256eb823acc0a48d61&utm_source=cm&utm_term=Read%20the%20summary)

IPCC 議長：ジム・スケア Jim Skea (英国)

IPCC 副議長：ラディスラウス・チャンア (タンザニア)、ラモン・ビッチス・ドルガ (キューバ)、ダイアナ・ウルゲ・ヴオルザツ (ハンガリー)

WG1 共同議長：ロベール・ヴォタール (フランス)、シャオエ・チャン (中国)

WG1 副議長：エドヴィン・アルドリアン (インドネシア)、ナナ・アマ・ファラウン・クルツェ (ガーナ)、イネス・カミッローニ (アルゼンチン)、アイーダ・

ディオング (セネガル)、シェリリー・ハーバー (カナダ)、マヘシュワル・ルパヘティ (ネパール)、ソニア・セネピラトネ (スイス)

WG2 共同議長：ウィンストン・チョウ (シンガポール)、バート・ファン・デン・ハーク (オランダ)

WG2 副議長：ファフティマ・デントン (ガンビア)、ラウラ・ガヤルト (チリ)、クロムウェル・ルコリート (ケニア)、カルロス・メンテス (ベネズエラ)、マー

ク・ハウデン (オーストラリア)、ラマン・スクマール (インド)、アデル・トーマス (バハマ)、ジンタ・ソマーズ (ラトビア)

WG3 共同議長：キャサリン・カルバン (米国)、ジョイ・ジャクリーン・ペレイラ (マレーシア)

WG3 副議長：マレク・アル・ノリー (サウジアラビア)、エドゥアルド・カルボ・ブエンディア (ペルー)、ヤン・シグルド・フグレストヴェット (ノル

ウェー)、シル・キルクス (トルコ)、オリバー・ゲーテン (ドイツ)、ジェルヴェ・イソア・マズース (コンゴ共和国)、ヌールディン・ヤッサ (アルジェリア)

国別温室効果ガスインベントリー・タスクフォース共同議長：榎本 武 (日本)、マザール・ハヤット (パキスタン)

国別温室効果ガスインベントリー・タスクフォースビューロー：アムジャド・アブドゥラ (モルディブ)、ローナ・エレナ・ダウイドウスキー (アルゼンチン)、ジャ

コモ・グラッシ (イタリア)、ジョニ・ジュスタ (インドネシア)、モハド・タリブ・ラティフ (マレーシア)、モハマド・ラヒミ (イラン)、イルマ・ファビオラ・

ラミレス・ヘルナンデス (メキシコ)、ヤスナ・ロハス (チリ)、マリア・ホセ・サンス・サンチェス (スペイン)、ハミド・アバカル・スレイマネ (チャド)

(注) 青字は女性

ジム・スケアは 69 歳で、ロンドンのインペリアル・カレッジの持続可能なエネルギーの教授です。IPCC の第 6 次評価サイクルの中で、彼は WG3 の共同議

長を務めました。彼は、そのキャリアのほとんどにおいて、気候の課題を確実にし、変化が理解され、それを回避するための行動が取られることに専念してきました

た。彼の履歴は、以下の URL~見るすることができます。

<https://apps.ipcc.ch/fp/readcv.php?t=SKEA Jim CV 1680711906.pdf>

彼からのメッセージは以下の通りです。

私は IPCC の議長に選出されたことに恐縮し、また、他底辺光栄に感じています。

候補として私を支えてくれた人たちに深く感謝するとともに、IPCC 前議長であり、輝かしい第 6 次評価サイクルをリードしたのホーセン・リー博士に謝意を表します。キャンペーンに際し、世

界中の関係者の意見を広く聴きました。今後、議長として 3 つの優先順位の高い活動を行います。①世界の全ての地域にまたがる、包摂性が高い参加と協働の確保、②最善の、最も関連性の高い科学の使用の推進、そして③政策決定者や他のステークホルダーに関わることによる IPCC の活動の伝達と影響の最大化、です。私たちにはツールがあります。そのツールが機能するようにしなければいけません。

ジム・スケアによるスピード重視は、グローバル・ストックテイクを含む国連気候変動枠組条約へのタイムリーなインプットと、あらゆるレベルの政策立案者を支援するための最新情報を確保する必要性を反映しています。IPCC は、気候変動の

影響に取り組む世界を導く上で重要な役割を果たし続けています。パネルにとっての問題は、有意義で即時の行動を支援するために、その影響力の立場をどのように最大限に活用するかです。

ジム・スケアの IPCC 議長への選出は、多くの代表から熱烈に歓迎されました。彼は、透明性を重視する効率的で魅力的なコンセンサスビルダーとして知られており、彼の選出は、国連気候変動枠組条約の下でのグローバル・ストックテイクへのパネルの貢献などを通じて、世界の気候行動を支援するための明確な科学的インプットを行うために、次の評価サイクルを迅速に進めることへの期待を反映しているようです。

(仮訳・解説：ESD-J 理事 鈴木克徳)